

葛飾区総合戦略

令和6(2024)年度～令和9(2027)年度

葛飾区総合戦略

1 「総合戦略」とは

国においては、人口減少社会と少子高齢化社会における課題の克服を目指し、「まち・ひと・しごと・創生総合戦略」を閣議決定し、地方においても、国の総合戦略の趣旨を踏まえて、地域の特性に応じた「地方版総合戦略」を策定し、課題解決に取り組んできたところです。

今般、国においては、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、デジタルの力を活用しつつ、地域の個性を活かしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化することとし、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改訂し、令和4年12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。一方で、地方公共団体においても、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案して、地方版総合戦略を策定・改訂することが努力義務として定められており、東京都では、地方版総合戦略として、令和5年1月に『『未来の東京』戦略 version up 2023』を策定しました。

本区においては、令和3年8月に葛飾区基本計画の中で、本区の将来人口の展望を明らかにし、今後目指すべき方向性を掲示する地方版総合戦略に反映させていくため、対象期間を2060年までとする「葛飾区人口ビジョン」を策定しています。

その後、令和3年9月に、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえた、令和3年度から令和6年度までを対象期間とする「葛飾区総合戦略」を策定し、人口減少の克服と地域の活性化に取り組んできたところです。

このたび、国や東京都の新たな総合戦略を踏まえながら、本区においても「葛飾区中期実施計画」（以下、「中期実施計画」という。）が策定されるのを機に「葛飾区総合戦略」（以下、「総合戦略」という。）を改訂し、区民の誰もがデジタル化の恩恵を享受できる社会を目指し、地域の活性化に取り組んでいきます。

なお、本総合戦略はSDGsの理念を踏まえており、SDGsの目標との関係は各基本目標の中で示しています。

2 国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の施策の方向

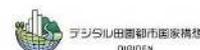
(1) デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

- ① 地方に仕事をつくる
- ② 人の流れをつくる
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 魅力的な地域をつくる

(2) デジタル実装の基礎条件整備

- ① デジタル基盤の整備
- ② デジタル人材の育成・確保
- ③ 誰一人取り残されないための取組

デジタル田園都市国家構想総合戦略の全体像



総合戦略の基本的考え方

- ▶ テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、**社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化**し、「**全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会**」を目指す。
- ▶ **東京圏への過度な一極集中の是正や多極化を図り、地方に住み働きながら、都会に匹敵する情報やサービスを利用できるようにすることで、地方の社会課題を成長の原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていく。**
- ▶ デジタル技術の活用は、その**実証の段階から実装の段階に着実に移行**しつつあり、デジタル実装に向けた各府省庁の施策の推進に加え、デジタル田園都市国家構想交付金の活用等により、**各地域の優良事例の横展開を加速化**。
- ▶ **これまでの地方創生の取組も、全国で取り組まれてきた中で蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進していくことが重要。**

<総合戦略のポイント>

- まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、**2023年度から2027年度までの5か年の新たな総合戦略**を策定。デジタル田園都市国家構想基本方針で定めた取組の方向性に沿って、**各府省庁の施策の充実・具体化**を図るとともに、**KPIとロードマップ（工程表）**を位置付け。
- 地方は、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、**地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略を改訂。地域ビジョン実現に向け**、国は政府一丸となって総合的・効果的に支援する観点から、**必要な施策間の連携をこれまで以上に強化**するとともに、同様の社会課題を抱える複数の地方公共団体が連携して、効果的かつ効率的に課題解決に取り組むことができるよう、**デジタルの力も活用した地域間連携の在り方や推進策を提示**。

施策の方向

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

デジタルの力を活用して地方の社会課題解決に向けた取組を加速化・深化

- ① **地方に仕事をつくる**
スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX（キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等）、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出 等
- ② **人の流れをつくる**
「転離なき移住」の推進、オンライン関係人口の醸成・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれる地域づくり 等
- ③ **結婚・出産・子育ての希望をかなえる**
結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり、こども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進 等
- ④ **魅力的な地域をつくる**
教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、文化・スポーツ、防災・減災、国土強靱化の強化等、地域コミュニティ構築の維持・強化等

地方のデジタル実装を支援

デジタル実装の基礎条件整備

デジタル実装の前提となる取組を国が強力に推進

- ① **デジタル基盤の整備**
デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大、データ連携基盤の構築（デジタル社会実装基盤全国総合整備計画の策定等）、ICTの活用による持続可能性と利便性の高い公共交通ネットワークの整備、エネルギーインフラのデジタル化 等
- ② **デジタル人材の育成・確保**
デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成、デジタル人材の地域への還流促進、女性デジタル人材の育成・確保 等
- ③ **誰一人取り残されないための取組**
デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現、経済的事情等に基づくデジタルデバイドの是正、利用者視点でのサービスデザイン体制の確立 等

地域ビジョンの実現に向けた施策間連携・地域間連携の推進

<モデル地域ビジョンの例>		<重要施策分野の例>	
<ul style="list-style-type: none"> ■ スマートシティ スーパーシティ ■ SDGs未来都市 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「デジタル」中山間地域 ■ 脱炭素 先行地域 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 産学官 協創都市 ■ 地域交通の リ・デザイン ■ 遠隔医療 	<ul style="list-style-type: none"> ■ こども政策 ■ 教育DX ■ 観光DX ■ 地方創生 テレワーク ■ 地域防犯力の向上
<施策間連携の例>		<地域間連携の例>	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 関係府省庁の施策を取りまとめ、地方にわかりやすい形で提示 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ モデルとなる地域を選定し、選定地域の評価・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 他地域のモデルとなる優良事例の周知・共有、横展開 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ワンストップ型相談体制の構築や地方支分部局の活用等による併走型支援
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自治体間連携の枠組みにおけるデジタル活用取組を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 国が事業の採択や地域の選定等を行う際に、地域間連携を行う取組を評価・支援
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域間連携の優良事例を収集し、メニューブック等を通じて広く周知・共有 	

「デジタル田園都市国家構想総合戦略（2022年12月23日）」

（内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局サイト

「デジタル田園都市国家構想」より）

参考：東京都の『未来の東京』戦略 version up 2023」の4つの基本戦略

- ① バックキャストの視点で将来を展望する
- ② 民間企業等、多様な主体と協働して政策を推し進める
- ③ デジタルトランスフォーメーション（DX）でスマート東京を実現
- ④ 時代や状況の変化に弾力的に対応「アジャイル」

「未来の東京」戦略 バージョンアップの考え方

<戦略を展開するスタンス>

- ・「サステナブル・リカバリー（持続可能な回復）」の実現
- ・課題の根源まで踏み込んだ「構造改革」を強かに推進

<4つの基本戦略>

- ① **バックキャスト**の視点で将来を展望する
- ② 民間企業等、**多様な主体と協働**して政策を推し進める
- ③ **デジタルトランスフォーメーション（DX）**でスマート東京を実現
- ④ 時代や状況の変化に弾力的に対応「**アジャイル**」

「未来の東京」戦略

～渋沢・後藤の精神を受け継ぎ、
新たな地平を切り拓く～（令和3年3月）

「サステナブル・リカバリー（持続可能な回復）」の実現と課題の根源まで踏み込んだ「構造改革」を基本スタンスとし、目指す2040年代の東京の姿である「ビジョン」を掲げ、その実現に向けた「戦略」と「推進プロジェクト」を提示

戦略本体



政策をバージョンアップ



「未来の東京」戦略
version up 2022（令和4年2月）

東京2020大会と新型コロナとの闘いの中で生じた様々な変化変革を踏まえ、政策をバージョンアップ

「成長」と「成熟」が両立した
未来の東京

政策をバージョンアップ



「『未来の東京』戦略 version up 2023（2023年1月）」
（東京都政策企画局サイト「未来の東京」戦略より）

3 葛飾区総合戦略の位置付け

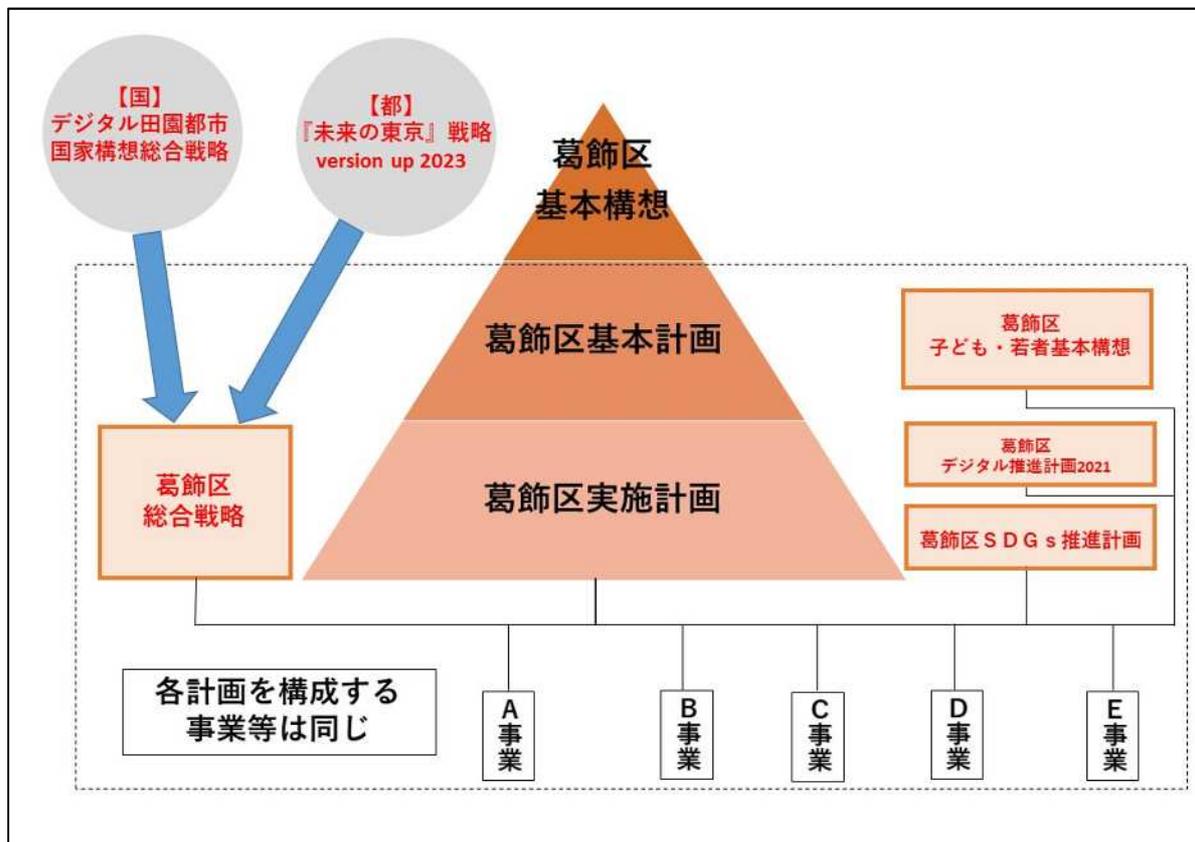
本区では、区政運営に係る中期的な基本理念や目標を掲げる総合的計画として実施計画があり、デジタルの視点、子ども・若者や子育て支援の視点を踏まえた取組や方針を定めている葛飾区SDGs推進計画、葛飾区デジタル推進計画2021、さらに葛飾区子ども・若者基本構想（以下「子ども基本構想」という。）を踏まえていることから、この実施計画を推進していくことは、国の総合戦略が目指す「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」につながります。

このことから、本区の総合戦略では、これら計画や構想で位置付けられたデジタル、子ども・若者や子育て支援の視点を踏まえた事業や取組を、総合戦略と共通のものと捉え、今回の中期実施計画の策定に併せて改訂しました。

計画期間は中期実施計画と同様の令和6年度から令和9年度までとし、中期実施計画の中で進捗管理を行っていきます。

※国は、「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き」（令和4年12月版）において、地方自治体の総合計画等と地方版総合戦略の関係について、「総合計画等を見直す際に、見直し後の総合計画等においてデジタルの力を活用した地方創生という目的が明確であり、目標や重要業績評価指標（KPI）が設定されるなど、地方版総合戦略としての内容も備えているような場合には、総合計画等と総合戦略を一つのものとして策定することは可能」としている。

【葛飾区総合戦略と各計画等の関係】



4 本区の地域ビジョン（目指すべき将来像）

今回の総合戦略を改訂するに当たり、国は各自治体に総合戦略の方向性である地域ビジョンを掲げるように求めています。

本区では、これまでも将来人口に係る課題解決に向けた取組として、多くの子育て世代の定住を促進し、誰もが「住み続けたい」と思えるまちづくりを進めるとともに、バランスの取れた人口構成となるよう、年少人口の増加に向けた施策を展開し、多くの人から「住んでみたい」と思われるまちづくりを進めています。

また、これらに合わせて、「葛飾区子どもの権利条例」の施行や「子ども基本構想」の策定など、子ども・若者や子育て支援を積極的に押し進めることで、多くの人から「このまちで育ったこと、このまちで育てたこと」を誇りに思えるまちづくりをより一層推進しています。特に、子ども基本構想は、葛飾区基本構想の下、「葛飾区子どもの権利条例」の趣旨を踏まえ、葛飾区基本計画に位置付けられている全ての政策やこれらの政策と整合している区の個別計画等を、子ども・若者や子育て支援の視点から捉え直して、総合的なまちづくりを推進していくための指針に位置付けています。

以上のことから総合戦略では、子ども基本構想で掲げる目指すべき将来像『「このまちで育ったこと、このまちで育てたこと」を誇れるまち・かつしか』を本区的地域ビジョンとして位置付け、各政策・施策を組織横断的に取り組んでいきます。

【地域ビジョン】

（目指すべき将来像）

「このまちで育ったこと、このまちで育てたこと」を誇れるまち・かつしか

全ての政策等に子ども・若者や子育て支援の視点を反映した総合的なまちづくりの推進

目指すべき将来像へ

5 葛飾区総合戦略（令和6年度～令和9年度）の基本目標

本区では、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、令和3年度から令和6年度までを計画期間とする「葛飾区総合戦略」の中で、人口減少社会の到来を見据えて、以下のとおり今後の取組の方向性を決めました。

- 基本目標1 街づくりの推進による本区の利便性・快適性の向上
- 基本目標2 子育て環境の充実によるファミリー層の定住促進と出生数の増加
- 基本目標3 区内産業の活性化や地方都市との連携による本区の魅力の向上

このたび、国においては、デジタル田園都市国家構想総合戦略の中で、「デジタルの力を活用した地方の社会課題解決」の方策を定めており、本区としては、前回の葛飾区総合戦略で設定した3つの基本目標の方向性は、普遍的なものであると考えております。そのため、このたびの総合戦略では、新たに国の考え方と地域ビジョンに掲げる子ども・若者や子育て支援の視点を踏まえた上で、引き続き3つの基本目標に向けて、各政策・施策に取り組んでいきます。

6 デジタルの力を活用した社会課題解決の主な方策

中期実施計画においては、以下のとおりデジタルの力を活用した主な方策を示し、区の社会課題解決に向けて取り組んでいきます。

（1）「行かない」「書かない」「待たない」窓口サービスの実現

積極的に本区のDXを推進していくため、「かつしかDX」の戦略的取組に基づき、利用者視点に立った窓口サービスの実現に向けて取り組みます。

戦略的に取り組む窓口DXでは、「地方公共団体情報システムの標準化」への移行も踏まえ、区役所へ行かないで済むオンライン手続の拡大、申請書を書かないで済む書かない窓口の導入、窓口で待たないで済むインターネット呼び出しサービスや生成AIの活用などにより、利用者や来庁者に時間や労力を使わせない「行かない」「書かない」「待たない」窓口サービスの実現を目指します。

（2）内部業務変革に向けたDXの徹底推進

OCRやRPAなどのデジタルツールを効果的に活用して内部業務の効率化・省力化を一層推進していきます。併せて、ペーパーレスやFAXレスなどデジタルファーストを推進するとともに、電子データの保存領域の拡張や効率的な働き方を可能にする業務用端末の入替など、新たなワークスタイルに向けた基盤整備にも取り組みます。

また、ノーコードツールやAIの活用など、デジタル人材として求められる知識やスキルを自主自立して活用することができる職員の育成に取り組むとともに、GovTech東京等と連携して、積極的に高度な専門人材を活用することで、ニーズや課題に対して迅速かつ的確に対応できるデジタルに精通した職場の実現に取り組みます。

(3) DXの活用で施策等の付加価値を創造

区民の安全性向上に取り組む防災DXの推進や、区内事業者へのデジタル化支援など区内産業の活性化に向けた産業DXの推進、データ利活用により区民の健康増進に取り組む健康DXの推進など、様々な分野でデジタル技術の有効活用を図ることで、付加価値の創造に取り組んでいます。

参考：関係施策等

- 健康DXの推進
 - ・区民と事業者の健康づくり活動の推進（区民と事業者の健康活動促進事業）
- 防災DXの推進
 - ・災害対策本部運営の強化
- 産業DXの推進
 - ・区内事業者のデジタル化支援、魅力PR・販路拡大、商店街の活性化
- 子育てDXの推進
 - ・手続きのオンライン化の推進による区民サービス向上など
- 教育DXの推進
 - ・教育情報化推進事業などDXを推進

7 葛飾区総合戦略（令和6年度～令和9年度）の基本目標と中期実施計画の政策等との主な対応

○基本目標1：街づくりの推進による本区の利便性・快適性の向上



〈対応する中期実施計画の主な政策・施策〉

(1) 政策「地域街づくり」

①施策「計画的な土地利用の推進」

計画的な土地利用を図り、区民主体のまちづくりを推進する

- ②施策「駅周辺拠点の形成」
駅周辺を、住み、働き、憩う、にぎわいのある拠点とする
- ③施策「地域の街づくり」
地域特性や地域の実情を活かした街づくりを進める
- (2) 政策「防災・生活安全」
 - ①施策「防災街づくり」
災害に強く、安全で、安心して生活できる街をつくる
 - ②施策「災害対策」
災害に対する確な対応と迅速な復旧ができる体制をつくる
- (3) 政策「交通」
 - ①施策「道路交通網の充実」
誰もが安全かつ快適に通行できるよう、道路交通網の充実を図る
 - ②施策「公共交通の充実」
区内を移動するあらゆる人にとって、分かりやすく・利用しやすい公共交通を実現する
- (4) 政策「公園・水辺」
 - ①施策「公園整備」
多くの区民が集い、憩い、活動できる公園を整備する
 - ②施策「水辺整備」
河川を活かした快適な空間を整備し、多くの区民が水辺に親しめるようにする
- (5) 政策「人権・多様性・平和」
 - ①施策「ユニバーサルデザイン」
ユニバーサルデザインの考え方に基づいたまちをつくる

○基本目標2：子育て環境の充実によるファミリー層の定住促進と出生数の増加



〈対応する中期実施計画の主な政策・施策〉

- (1) 政策「子ども・家庭支援」
 - ①施策「母子保健」
安心して妊娠・出産・育児ができるよう、親と子の心身の健康を支える
 - ②施策「子育て家庭への支援」
子育て中の家庭を支援し、安心して子どもを育てられるようにする

- ③施策「仕事と子育ての両立支援」
仕事と子育てを両立しやすい環境を整える
- ④施策「子ども・若者支援」
子ども・若者の権利・利益を守り、健やかな成長を支える
- (2) 政策「学校教育」
 - ①施策「学力・体力の向上」
学力・体力の向上を図り、子どもたちの生きる力を育む
 - ②施策「一人一人を大切にできる教育の推進」
一人一人を大切にできる教育を推進し、全ての子どもが楽しく充実した学校生活を送れるようにする
- (3) 政策「地域教育」
 - ①施策「学校・家庭・地域の連携」
学校・家庭・地域の連携により、青少年の健全育成を図るとともに、豊かな教育環境をつくる
 - ②施策「家庭教育への支援」
家庭教育を支援し、親子が共に学び育ち合えるようにする
- (4) 政策「生涯学習」
 - ①施策「区民学習」
多様な学びと交流の機会を整え、自主的な学習活動を支援する
 - ②施策「図書サービスの充実」
誰もが快適に図書サービスを利用できる環境を整備する
- (5) 政策「スポーツ」
 - ①施策「スポーツ活動の推進」
区民誰もが多様なスポーツに親しみ、健やかに暮らせる環境をつくる
 - ②施策「スポーツ基盤整備」
区民誰もが安全・快適にスポーツに親しめる環境を整備する
- (6) 政策「健康」
 - ①施策「健康づくり」
区民の健康づくりを支援し、健康寿命を延ばす
 - ②施策「生活習慣病の予防」
区民自らが健康管理し、生活習慣病を予防できるようにする

○基本目標3：区内産業の活性化や地方都市との連携による本区の魅力の向上



〈対応する中期実施計画の主な政策・施策〉

(1) 政策「産業」

①施策「産業の活性化」

新たな技術や事業の創出を支援するとともに、区内産業の魅力を広くアピールして、産業を活性化する

②施策「経営支援」

区内の事業所が安定的に経営できるようにする

③施策「キャリアアップ・就労支援」

区民のキャリアアップと就労を支援する

(2) 政策「観光・文化」

①施策「観光まちづくり」

本区ならではの観光資源を活かしたにぎわいのあるまちにする

②施策「観光イベント」

地域ならではのイベントにひかれ、多くの人でにぎわうようにする

③施策「文化・芸術の創造」

身近な地域で観る・聴く・参加することのできる文化・芸術活動を展開し、葛飾らしい地域文化を育む

※中期実施計画の各施策における評価指標と目標値については、総合戦略上の重要業績評価指標として扱う。